



『Garden 8月9日の父をさがして』

森越智子・作 大野八生・絵

ISBN978-4-494-02090-4／167P／四六判／中学生～

定価 1,980 円（本体 1,800 円+税 10%）

被爆体験を語らず、家族を守り続けた父。遺された被爆者手帳からはじまる、あの日の父をさがす物語。

1945年8月9日。一発の原子爆弾が長崎に落とされた日、12歳の父は中学校での試験を終え、疎開先の隣町へ帰る列車に乗れたことで一命をとりとめた。

爆心地から800mの場所にあった中学校は全壊し、同級生の3分の1が帰らぬ人となる。

原爆から逃れ、平穏な一生を送ったと思っていた父は、しかし被爆者だった。

父の死後、見つかった被爆者手帳には、知ることのなかったあの日の父と、そこからはじまった葛藤の日々が残されていた。

被爆地で生き抜いてきた父の思いと、隠された「ぼく」の名前のひみつ。

長い時を経て、原爆被爆者の言葉にできなかつた思いが、静かに胸に迫る。

現代からあの日をたどり、あの日につながる私たちのこれからを見つめます。